

三重県教育ビジョン

学校経営構想図

伊勢市教育目標

学校教育目標

心豊かに、たくましく生きる子どもの育成

めざす教師像

向上心がある
愛情ある指導
心でとらえる
責任と協働
健康と改善
範となる教職員

めざす子ども像

追求する
思いやる
表現する
健康を保つ
郷土を愛する
知徳体のバランス

めざす学校像

喜びの共有
進んで活動
学力が育つ
働きがいがある
あいさつと笑顔の学校

【研究主題】 伝えあい・響き合い
～児童理解を深め、仲間とつながり学び合う授業をめざして～

授業で

生活で

重点目標

—行動計画—

信頼される学校づくり	確かな学力づくり	心豊かな人づくり	学校力・教師力の向上
① 保護者や地域との連携の推進 ② 安全・安心な学校環境づくり	① 基礎基本、確かな学力の定着 ② 特別支援教育の推進	① 人権教育の推進 ② ともに育ちあう仲間づくり ③ 健康教育の推進 ④ 多様で豊かな体験活動の充実	気づきと改善を生かした、高まりを実感できる学校づくりの推進

評価と改善活動 (PDCA)

家庭の教育力

地域の教育力

学 校 経 営

1. 方針

社会の変動の激しい今日、学校教育において大切なことは、しっかりと軸足を定めて、めざす学校の実現に取り組むことである。学校は、子どもたち一人一人が将来幸せになるための力を修得する場所である。そして、一人一人の幸せが、しいては、社会の幸せへとつながっていく。

将来幸せになるための力とは、新しい時代を切り拓く力であり、たくましく生きる力である。その力は、課題に対してこれまで身につけた知恵と正しい判断によって解決する力である。また、一人では解決できないときは、周りの人と力を合わせることによって解決しようとする力である。

これらの実現を望むには、学校だけでなく家庭や地域とのつながり、協力体制が不可欠である。私たちは自分たちの考え方や実践を広く正確に伝え、理解を求めるとともに、謙虚に聞く耳をもたなければならない。「うちの子」「地域の子」として大切に育てられている一人一人の子どもたちの尊い命と可能性に対して、価値観をそろえ、同じベクトルで向かわなければどれだけ一生懸命にしても成果は半減してしまう。「開かれた学校づくり」をすすめ、家庭訪問・通信・懇談会そして学校評価活動を充実させ改善に努めていきたい。

さらに、東日本大震災以降、防災に対する意識が大きく変わった。特に、東海・東南海・南海トラフを震源域とした予想される地震は3・11より大きな被害を想定している。子どもたちの命と学校の財産を守るために、「自分の命は自分で守る」防災・減災教育に取り組んでいく。

2. 学校教育目標

「心豊かに、たくましく生きる子どもの育成」

生きる力としての①確かな学力②豊かな心③健やかな体の育成に取り組んでいきたいと考えてこの学校教育目標を設定した。

3. めざす学校の姿

- (1) 喜びが共有できる学校
- (2) 進んで活動できる学校
- (3) 確かな学力が育つ学校
- (4) 働きがいのある学校

4. めざす子どもの姿

- (1) ねばり強く考え追求していく子

◎最後まであきらめずに追求し、前へ向かって進んでいこうとする。

- (2) 仲間の心を思いやる子
 - ◎自分も人も大切にし、人とつながり、仲間づくりができる。
- (3) 自分をしっかり表現できる子
 - ◎自分の考えをもち、人前で表現できる（身体表現も含む）
- (4) 心と体を健康に保つことができる子
 - ◎健康的な生活習慣や望ましい食習慣を身に付ける
- (5) 誇りを持ち郷土を愛する子
 - ◎地域学習を通して地域のよさを知ることができる

5. めざす教職員の姿

- (1) 向上心をもち自らの実践を問い直す教職員
- (2) 甘やかさずでなく、愛情あふれる厳しい指導のできる教職員
- (3) 子どもや親の気持ちを心でとらえる教職員
- (4) 自らの責任と向き合うとともに、さらに助け合ってすすめる教職員
- (5) 心と体の健康を大切にし、業務縮減（整理や見直し）に取り組む教職員

6. 重点目標と行動計画

- (1) 信頼される学校づくり
 - ① 保護者や地域との連携の推進
 - ・ あいさつや適切な言葉づかいがきちんとできるように指導します。
 - ・ 家庭訪問や学校学級だよりを通して情報の提供や共有を行います。
 - ・ 保護者や地域からの声に対して誠意をもって聴き、必ず返事を返していきます。
 - ② 安全・安心な学校環境づくり
 - ・ 校内安全点検を定期的に行い、改善・修繕に努めます。
 - ・ 防災教育を推進します。
 - ・ 校区内団体やPTAと協力して安全確保に努めます。
- (2) 確かな学力づくり
 - ① 基礎基本、確かな学力の定着
 - ・ 学習規律や発表のルールを徹底し、家庭学習の習慣を身につけさせます。
 - ・ 授業改善により学ぶことの楽しさや達成する喜びを体得させ自ら学ぶ意欲を高めるよう努めます。
 - ・ 読書に親しむとともに語彙数を増やし考える力を育てます。
 - ② 特別支援教育の推進
 - ・ 特別な支援を必要とする子どもに対する理解を深め、共に歩む姿勢で取り組みます。
 - ・ 支援を必要とする児童の個別の支援計画を作成し、個に応じた支援を行います。

- ・ スクールカウンセラーを有効に活用し、教育相談活動を充実させます。

(3) 心豊かな人づくり

① 人権教育の推進

- ・ いのちを大切にし、いじめや差別を許さない実践力を養います。また、「いじめ防止基本方針」をもとに、連携・実態把握・対応に努めます。
- ・ 全ての教育活動を通して、人権感覚を身に付ける指導を推進します。
- ・ 人権学習、部落問題学習を計画にそって実践します。
- ・ 家族や地域で生活する人とのつながりを広げ、ともに育ちあう関係をつくりまします。
- ・ さまざまな人との出会いを通して、生き方から学び合う場をつくりまします。

② ともに育ちあう仲間づくり

- ・ 道徳の時間を要として学校の教育活動全体を通じて道徳教育を行います。
- ・ あいさつ、言葉づかい、聞く態度を徹底して育てまします。
- ・ お互いの良さを認め合い、安全安心で居心地のよい学校生活を送れるように適切な生活指導を行います。
- ・ 縦割り集団での活動を通し、児童の自主性と思いやりの心を育てまします。

③ 健康教育の推進

- ・ 日常の保健指導等を充実まします。
- ・ 進んで運動する習慣を育て、健康でたくましい身体づくりを進めまします。
- ・ 食育活動を通して、健康なからだづくりを考えようにまします。

④ 多様で豊かな体験活動の充実

- ・ キャリア教育の具現化と見直しをすすめまします。
- ・ 特色ある活動を地域の人々と協力してすすめまします。
- ・ 自然から学び、考え、豊かな心を育む生産体験学習を行います。
- ・ 環境を守り改善する心や態度を養うため環境整備活動を計画的に行います。
- ・ 様々な体験を通して確かな判断力を育て、社会規範を尊重する精神を養います。

(4) 学校力、教師力の向上

① 研修・研究の推進

- ・ わかりやすい授業や魅力ある授業について研究研修を重ね実践するとともに、一人一人の学びの状況を把握し、個に応じた指導の工夫をまします。また、学力格差の是正に努めまします。
- ・ 講師や支援員の研修の機会をもち力量の向上と共通理解に努めまします。

② 気づきと改善を生かした、高まりを実感できる学校づくりの推進

- ・ 児童と保護者による学校アンケートを実施し意見を集約し公開まします。
- ・ 学校評価（自己評価・関係者評価）を実施し、改善に努めまします。
- ・ 一人一人の個性や能力を生かし、相互に補完できる職員体制をつくりまします。